

県高P連広報

発行所
新潟県高等学校
PTA連合会
新潟市中央区幸西3-3-1
(じよいあす新潟会館内)
TEL (025) 243-6851
FAX (025) 243-6852
印刷所
共立印刷(株)



ご挨拶

新潟県高等学校PTA連合会会長
一般社団法人 新潟県高等学校
PTA安全互助会 理事長
佐藤 康司

(新潟中央高等学校PTA会長)

昨年に引き続き、令和元年度、新潟県高等学校PTA連合会会長をつとめさせていただきます。佐藤康司と申します。よろしくお願ひ致します。

さて、去る七月四日、五日、長野市において北信越地区高P連研究大会長野大会が開催されました。新潟県からは、二百二名と多くのご参加をいただきました。御礼申し上げます。

また、第一分科会から第四分科会にて、新潟東高等学校、長岡農業高等学校、柏崎工業高等学校、新発田農業高等学校のPTA会長様より、研究発表を行っていただき、準備、当日と大変であったと思います。この場をお借りして重ねて御礼申し上げます。

大会二日目には、信州大学教育学部の結城匡啓教授より、「金メダリスト小平奈緒の成長を支えて」選手を最大限に引き出す「コーチング」という演題にて、ご講演がございました。結城教授はスピードスケート日本代表コーチとして、長年、小平奈緒選手を担当され、育ててこられました。教授は、選手と接する時、必ずご両親とも関わっていくそうです。コーチとして選手を導くにあたり幼少期

からずつと見守っている親子関係は、選手との距離感を作っていく上で重要なことだそう。まさにParentsとTeachersの協力関係と一緒だと感じます。

講演の中で、教授の専門的なコーチング論も沢山ありましたが、長くなってしまっているので、「両親の言葉を紹介致します。小平選手がスランプの時、ご両親に相談すると、父親から結城コーチに「少し放っておけばいい」と言われたそうです。父親の奥深い言葉に距離感がいかに大切なことであるか再認識されたそうです。また、ソチ五輪で思うような結果が出せない中、観客席の母親が言った「私達はこのに來られるだけで幸せ、いつもの奈緒の、のびのび滑る姿が見られればそれで充分」という言葉を伝えたところ、小平選手の沈んでいた顔に笑顔が戻り、その後、完璧な滑りをしたそうです。

オランダに単身留学中は、思うような成果が出ず非常に辛い時期があったそうですが、そんな時に、父親より「奈緒の人生は神様がくれた時間、悔いのないように思う存分に使いなさい」という言葉を受け取り、小平選手は、気持ちが大き

く前に進んだそうです。

そして平昌五輪で金メダルに輝きました。私たちも小平さんのご両親同様、子どもたちの夢を実現させていく手伝いができればと思います。人生は勝ちだけではなく、負けることから学べることも沢山あり、様々な経験を積み、決断力、表現力、問題解決力を身につけ、自ら答えを出

宝物のような時間

新潟工業高等学校放送演劇部保護者
佐藤 春江

新潟工業高等学校放送演劇部は、三月二十二日から二十四日に愛知県豊橋市で開催された第十三回春季全国高等学校演劇研究大会に出場しました。この大会は、全国各地のブロック大会で優秀な成績を取った十校が上演する、高校演劇のフェスティバルです。放送演劇部は関東高校演劇研究大会で優秀賞となり、晴れてこの大会に出場することが決定しました。上演作品は「室長」。クラスの室長(級長)を決めるため集まった個性溢れる生徒達のお話です。「もう夢のようですよ。いや、夢なのかもしれない。夢なら覚めないでほしい。そんな感じで日々稽古しています！」とのコメントが大会パンフレットに載りました。上演後、「一人一人が良い芝居ができた」「いつも通り、を前提に、最後まで劇を楽しんだ」との言葉が聞かれました。一般席からは「社会のシステム、不安が伝わった」「シニール、同時に民主主義について考えさせられる面白い劇だった」



し歩む逞しい大人として成長する姿を皆様と共に見守りながら、PTA活動に取り組んでまいりたいと考えております。何卒変わらぬご支援とPTA活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。どうぞ一年間よろしくお願ひ申し上げます。

との感想が寄せられました。高校演劇には舞台上で演技をするキャストのほか、舞台監督、演出、照明、音響などのスタッフがいいます。キャストとスタッフが一丸となって、納得のいく舞台が作れたようです。

放送演劇部は、放送コンテストでも好成績を残しました。第六十五回NHK杯全国放送コンテストでは、テレビドキュメント部門、ラジオドラマ部門、朗読部門で県代表になり、全国大会に出場しました。惜しくも準々決勝で敗退しましたが、NHKホールで行われる決勝に残るような朗読、作品を目標に、これからも練習や作品制作に励むことでしょう。テレビドキュメント部門で県大会一位になった「跳べない人」はNHKの県内ニュース番組で放送されました。自ら作った作品が公共の電波に乗るとても嬉しい出来事でした。

子どもの放送演劇部での三年間はとても忙しく、充実した三年間だったようです。ご指導いただいた先生方、OB・OGの皆様感謝の気持ちでいっぱいです。子どもにとっても、とても意義深い、宝物のような時間を過ごせたのではないかと思います。本当にありがとうございました。

新潟県高等学校PTA連合会 総会報告

新潟南高等学校PTA会長 海老名 忠 宏

今年度の高P連総会と研究協議会は、去る五月三十一日(金) ホテルイタリア軒にて開催されました。また、同会場にて、(一社)新潟県高等学校PTA安全互助会社員総会も行われました。

例年通り、昨年度の事業報告及び決算報告、役員改選、そして今年度の事業計画及び予算が審議され、問題なく決議されました。

二つの総会の後、研究協議会が行われ、高P連内の各委員会報告があり、その後、四つの提案発表と協議がなされました。提案発表は左記の通りです。

- (1) 高校教育とPTA 新潟東高等学校
- (2) 進路指導とPTA 長岡農業高等学校
- (3) 生徒指導とPTA 柏崎工業高等学校
- (4) 家庭教育とPTA 新発田農業高等学校



どの発表もしつかりと準備された、熱の入ったプレゼンでした。新潟東高等学校の発表では、新たに導入された「総合的な探究の時間」の取組として、大学やNPO法人との連携を通じてPTAとしても関わっておられるとのこと、先進性を感じました。また、毎年のように各地で大規模な災害が発生するなか、柏崎工業高等学校では防災教育の一環として始まったPTA主催の復興ボランティア活動が継続的に実践されているなど、素晴らしい活動の報告がなされました。

「育力」



基調講演は「持続可能な社会をつくるための人材育成」と題して、石坂産業株式会社専務取締役の石坂知子様からご講演をいただきました。産業廃棄物処理から資源再生に発想の転換を図り、見事に事業イメージを塗り替えるとともに、エネルギー分野や農業分野にも視野を広げた事業展開を進めるなど高い企業理念がうかがえました。また、人材育成に関しても学校教育や家庭教育において参考とすべき示唆に富んでおり、本県出身の若手社員も同席にいたるなど人材育成における自信と誇りが感じられる素晴らしい講演でした。

県高P連総会 提案発表

高校教育とPTA

新潟東高等学校

PTA会長 津野 香

本校の現状と今後

本校は住宅街にあり、今年創立四十周年を迎える学校です。現在は、二十二学級、八百六十五名の生徒数で、九割以上の生徒は近場から通学しており、八割が自転車通学をしています。このことから昨年、県内初の「自転車通学安全モデル推進校」となったのを契機に、従来から行っていた交通立哨指導に加えて、生徒の皆さんと一緒に危険な道路を探し出すという活動にも取り組んできました。また、今年度県の「探究学習推進校」となったことや新潟経営大学と包括連携協定を結んだことから、私たちPTAができることはないかと考え、予算面の援助はもちろん、今後は保護者という人材を生かし活用できる取組にしていく必要があると考えています。

新たな取組として、保護者と先生方と合同で、いじめ対策研修会を実施しました。今後は、こうした学びの場の提供もPTA活動の大切な役目と考えています。そして何よりも、生徒・保護者は三年ですが、地域の人々は一生という視点を持ち、地域住民と一緒に活動する今後は考えていきたいと思っています。私たちPTAは、学校の方針を踏まえ、その上で活動をしていくということが最も大切なことだと思います。

進路指導とPTA

進路指導と

本校のPTA活動

長岡農業高等学校

PTA会長 水落裕美子

進路指導において、PTAとしての取組について、改めて向き合う機会をいただきました。

本校の生徒たちは、一年次に「自分を探す」、二年次に「探究する」、三年次に「深化する」というテーマを掲げ、三年間の学習を進めています。

PTAが参加する活動としては、進路意識啓発講演会、進路説明会、PTA校外研修(県内大学・専門学校・企業等の訪問)、校内研修(子どもたちが普段学習している、特別教室等での研修)を実施しています。

私たちは、これらの活動を、例年、企画・運営し、広報誌「大河信濃」で報告して、PTA活動の継続から改善へと努力しております。

学校での子どもたちへの進路指導は、入学時から非常に充実した内容が盛り込まれております。学校や先生方と連携し、子どもたちの健やかな育成と有意義な高校生活、夢の実現のために、会員相互の親睦と情報共有を深め、誰もが参加できる楽しい雰囲気作りを大切に、PTA活動を推進していきたいと考えています。



北信越地区高等学校PTA連合会研究大会 長野大会報告

新発田高等学校後援会長 中村 光 幸

北信越地区高P連研究大会長野大会が七月四、五日に開催され、大会のご報告をさせていただきます。

開会式が終わり、歓迎アトラクションが始まりました。大音響とともに颯爽と現れ、悪者たちと戦い退治してくれた高校戦隊テックレンジャーに感動致しました。私たちが子どもの頃に人気を博した秘密戦隊ゴレンジャーを彷彿させ懐かしく拝見致しました。ストーリーにも社会問題を取り込み、ショーの内容も勸善懲惡を表現して、子どもたちに夢と希望を与え、戦隊ヒーローとしてのクオリティが高く素晴らしいアトラクションでした。これからも子どもたちのヒーローとして活躍を期待するとともに、テックレンジャーを誕生させた飯田OIDE長姫高等学校コンピュータ制御部の皆さんに賛辞を送ります。

その後の分科会では、四つのテーマにそれぞれの代表校が実践発表をされました。私は、「進路指導とPTA」の分科会に参加を致しました。中でも、長野商業高等学校の長商デパートの取組の実践発表は、参加者の多



くから注目を浴びていました。生徒自らが商売としての心得、挨拶マナー、仕入や利益、バランスシートに至るまで実践し、地域とともに商業高校としての社会学を学んでいました。

二日目は、記念講演が行われました。「金メダリスト小平奈緒の成長を支えてく選手」を最大限に引き出すコーチング」と題して結城匡啓信州大学教育学部教授が講演されました。小平選手の失敗と挫折、そして平昌オリンピックでの金メダル、イ・サンファ選手との友情、両親の愛情といった小平選手のサクセスストーリーのお話でした。中でも、悩む小平選手について結城先生がお父さんに相談したところ、「少しほっとけばいいのです」と娘に時間を与え、自らが解決することを待つ親の愛情が印象に残りました。また、練習場から駐車場の一番遠くに車を止め、帰り際少しでも娘との会話を大切に話した話は、感動致しました。

結びに、長野大会では多くの学びをいただきました。今大会に尽力された地元高P連の皆様へ感謝を致します。ありがとうございました。

生徒指導とPTA

柏工PTAの取組

「ともに成長する 柏工健児を目指して」

柏崎工業高等学校

PTA会長 田原 好弘

本校では、平成二十三年の東日本大震災が発生した直後から、復興支援のボランティア活動を続けています。

生徒、保護者、教職員が参加して、岩手県、宮城県、福島県など甚大な被害を受けた地域を中心に活動を行っています。平成二十三年から二十六年は、岩手県、宮城県にて瓦礫除去作業。平成二十七年から二十九年は、住宅環境整備及び除草作業。平成三十年、令和元年は、福島県にて農地整備作業を行いました。生徒には、今後成長していく中でボランティアの必要性を理解し、活動に関わってほしいと願っています。そして保護者とともに参加することで、ボランティアへの関わりや意義を子どもと一緒に学ぶ良いPTA企画となっています。一方で、近年全国各地で地震、水害など災害が勃発しています。これからは地域を限定しない形でのボランティア活動の継続を検討中です。

文化祭では、「餅つき大会」や「おもてなし喫茶ルーム」を実施しています。保護者同士、あるいは保護者と生徒のコミュニケーションの促進の一助になるものと考えています。



家庭教育とPTA

「生徒・保護者・学校」

三位一体の家庭教育

新発田農業高等学校

PTA会長 菊池 真樹

今回の発表では、本校最大の特徴である「全員委員」について説明しました。「全員委員」とは、在学中の三年間のうち、一年間は必ずPTA委員として活動することです。通常の高校では、クラスから数名の役員を選出するだけで、半数以上の保護者は委員や役員にならないのが一般的だと思います。しかし、本校では、全員が委員として活動することがPTA会則で定められています。

会長、副会長をはじめ、現在五つの委員会組織があり、それぞれが年間を通じて各種活動を行っています。その活動の中には、生徒・保護者・教員が一緒に参加する校外進路研修会や、三者による意見・要望交換会などがあります。また、PTA交通安全運動やPTA文化祭企画などの各種行事では、多くの保護者が委員として関わることで互いに協力し、保護者同士の親睦も深まっています。そして、各種行事を運営実施することで子どもとの共通の話題が増え、家庭での会話も多くなります。

新発田農業PTAは、子どもに寄り添い、学校と連携し、三者参加型のPTA活動を実施しています。これからも、家庭教育、学校教育がより充実するように、PTAが橋渡しになり、三位一体を軸にした活動を続けていきたいと思っています。

全国高等学校PTA連合会大会 京都大会報告

新潟高等学校PTA会長 畑野 裕之

去る八月二十二日から二十三日の二日間、京都市のロームシアター京都を主会場に「Kyōから！未来を拓く」を受け継ぎ、創る新たなストーリー」をテーマに第六十九回全国高等学校PTA連合会大会京都大会が開催されました。

初日の表彰式では、本県から海洋高等学校PTAが優良PTA文部科学大臣表彰を受けました。また、門川京都市長から挨拶がありました。京都市は明治維新時に都市存亡危機があった。その際人づくりに力を入れ、日本初の小学校、工業高校、芸術大学を開校し現在の文化都市の礎となった。PTAは人づくりに役立っているとの言葉が印象的でした。

私はその後、第一分科会に出席し、「よくできる」とはどういうことか？—大学は、自分の可能性を見つける場である—を題として、京都産業大学学長特命補佐・細胞生物学者・歌人と様々な顔を持つ永田和宏先生から講演を聴きました。内容は、高校までの中等教育は「学習」、学んで習得するであるが、大学はその連続でなく「学



問」。学んで問い直すことに変わる。なぜなら社会では誰も正解を知らないことが多いからあり、想定外への対処が必要になるからです。問題解決能力より問題発掘・提示力が重視されます。ちなみに永田先生の著書「知の体力」は、四十校以上の入試に出題されているそうです。

二日目は日本電産永守重信会長の講演でした。要点は日本の教育は間違っている。偏差値とブランド主義が日本の高等教育をひずませている。また今の大学では英語は話せない、専門はできない、礼儀作法はできない。そこで自身が京都先端科学大学の理事長となり二〇三〇年に

京大を抜くと宣言しました。その語り口は七十過ぎとは思えないほど情熱的でした。やはり一代で世界最大のモーターメーカーを育てた人は違うなと感心しました。人材豊富な京都ならではの有益なお話をいくつも聴けて、親としても企業人としても大変参考になった大会でした。

新潟県高等学校PTA連合会 役員及び職員

- 会長 佐藤 康司 (新潟中央)
- 副会長 保坂 敏 (高田商業)
- 理事 中村 光幸 (新発田)
- 理事 上原 洋一 (新潟中央)
- 理事 高橋 武 (柏崎)
- 理事 月岡 龍夫 (糸魚川)
- 理事 岡部 恒夫 (長岡大手)
- 理事 田中 稔 (小千谷)
- 理事 小林 直美 (巻総合)
- 理事 川上 洋 (新潟)
- 理事 畑野 裕之 (新潟)
- 理事 菊池 真理 (新潟西)
- 監事 東條 昭人 (新井)
- 監事 小沼 久 (磐田商業)
- 幹事 熊倉 肇 (柏崎)
- 幹事 竹内 正宏 (高田商業)
- 幹事 久保 晃 (長岡商業)
- 幹事 渡邊 治夫 (三条東)
- 幹事 田邊 薫 (巻総合)
- 幹事 関矢 和彦 (村上)
- 幹事 上杉 一浩 (新潟北)
- 幹事 宮崎 和子 (新潟向陽)
- 事務局 中村 健郎 (事務局長)
- 職員 岩田 宏樹 (事務局次長)
- 職員 山田 努 (十日町)
- 職員 柳沢 和範 (新潟翠江)
- 職員 柳沢 幸也 (高田北城)
- 職員 山賀 淑雄 (直津中等)
- 職員 中村 亮一 (三条西)
- 職員 上村 敏明 (小千谷)
- 職員 中戸 義文 (新発田)
- 職員 渡辺 剛 (新津)
- 職員 仲野 昌弘 (新潟商業)
- 職員 上野 昌弘 (高志中等)
- 職員 市川 亮 (新潟南)
- 職員 海老名忠宏 (新潟南)
- 職員 遠間 春彦 (佐渡)
- 職員 五十嵐 博 (村上)
- 職員 宮田 佳則 (長岡)
- 職員 大山 隆夫 (三条東)
- 職員 長谷川 雅一 (高田)
- 職員 市川 禪 (直津中等)
- 職員 樺山 義宏 (新潟工業)
- 職員 長谷川 佐久信 (長岡)

新潟県高等学校PTA連合会 感謝状贈呈者

- 村田 正隆 (小千谷)
- 小田 和義 (新潟工業)
- 猪又 淳一 (糸魚川)
- 原野 賢匠 (長岡大手)
- 渡辺 剛 (巻総合)
- 岡田 茂久 (新潟南)
- 飯田 昭男 (新潟)
- 石井 幸彦 (新潟翠江)
- 倉嶋 和夫 (三条東)
- 藤井 人志 (新発田)
- 内野 信昭 (新潟商業)
- 安藤 正之 (吉田)
- 田野和洋 (高田商業)
- 片山 吉朗 (新発田)
- 尾崎 高次 (柏崎)
- 小野 惠次 (高田)
- 小池 保 (三条東)
- 木ノ瀬 勉 (村上)
- 小山 佳子 (新潟上)
- 古川 貴幸 (新潟西)
- 清水 隆広 (新潟井)
- 清水 源一 (巻総合)
- 志田 重道 (新津)
- 佐藤 伸哉 (新津)
- 荒木 和義 (事務局)

令和元年度 地区PTA研修会の開催予定

地区名	地区PTA幹事校	開催日時	会場	当番校
1 新潟	新潟工業	11月22日(金) 14:30~	じょいあす新潟会館	新潟東
2 巻	巻総合	11月21日(木) 15:00~	割烹 渡辺	巻総合
3 新発田・村上	新発田	11月22日(金) 14:45~	大観荘	村上中等
4 新津	新津	11月8日(金) 15:00~	一楽	新津南
5 長岡	長岡	11月1日(金) 15:00~	アトリウム長岡	中越
6 三条	三条東	11月29日(金) 14:00~	三条ロイヤルホテル	加茂農林
7 魚沼	小千谷	11月19日(火) 14:00~	グリーンパーク	小千谷西
8 柏崎	柏崎	11月19日(火) 14:00~	柏崎市立図書館(ソフィアセンター)	柏崎
9 高田・直江津	直江津中等	11月22日(金) 13:30~	ホテルハイマート	久比岐
10 佐渡	佐渡	11月13日(水) 14:30~	吉田家ホテル	佐渡中等

編集後記

今年も全国で猛暑日が続く、新潟県では気温が40℃を超え、熱中症患者も多く出たとニュースで報道がありました。新潟県の最高気温は、私が学生だった頃と比べても約3℃上昇しています。このまま年々気温が上昇していくと次世代の生活が心配になります。今後、地球温暖化防止に心がけ、環境にやさしい生活を送ろうと思っ

(調査広報委員長)